

各位

ピンバッジ製作にかかる入札依頼

標記の件について、一般競争入札（総合評価落札方式）を実施いたします。

依頼業務	日本弁理士会マスコットキャラクター「はっぴょん」のピンバッジの製作
要求仕様	1. 本体 ・デザイン：別紙参照 ※ ・サイズ：天地約25mm×左右約15（～14）mm ・素材：ニッケルメッキ仕上げ ・表面色数：2色色差し、透明エポキシ仕上げ 2. 留め具 ・バタフライクラッチ ※装着後、平易に外れない造りのしっかりしたものを使用すること ※装着した際、ピンバッジ本体が平易に回転しないような仕様とすること 3. 裏面刻印 日本弁理士会、公式キャラクターはっぴょん（別紙参照） 4. 仕上げ 注意点が多いため、別紙参照 5. 台紙 ・仕様：斤量225kg 前後 表裏PP 特色1色 ・デザイン：別紙参照 ・サイズ：天地約55mm×左右約45mm ※デザインデータはai形式で当会から貸与します
数量	5,000個
サンプルチェック ※必須	デザイン校了後約20日程度（チェック1回）
納品	ピンバッジ台紙にセッティング後PP袋入れ カートン適量で納品
納品場所	①弁理士会館（東京都千代田区霞が関3-4-2） ②東京倶楽部ビル14階（東京都千代田区霞が関3-2-6）
納品期限	2027年2月下旬頃 具体的な納品日は、後日協議の上決定する。
提出物等	1. 入札書 （1）見積り金額は税込で記載してください。 見積り金額には以下の諸費用すべてを含めるようにしてください。 本体製作費、金型代、ピンバッジ台紙製作費、PP袋封入代、配送料、その他 （2）増産する場合の対応の可否を記載ください。可能な場合はその条件（金型の保管期間、その他必要事項）についても明記してください。 2. 会社概要 記載必須事項：①従業員数、②類似業務の実績と取引先（10～50件程度）、 ③生産拠点（日本国内所在地、海外所在地をそれぞれ記載すること）、

	④受注から納品までの生産過程、商品管理体制、過去の実績がわかる資料 ⑤会社のホームページのURL 上記に加え、会社のパンフレット等を同封していただいても構いません 3. 今回落札した場合の生産場所情報（海外の場合は日本への輸送方法も記載すること） 4. 今回と同様の仕様で製作したピンバッジのサンプル品1～2点（完全に同じ仕様でなくても構いません） ※上記すべての提出物が揃っていない場合は落札できません。
提出方法	以下のいずれかの方法で提出してください。 1. 応札フォーム 次のURL 先から必要事項を入力ください。 https://form.run/@competitive-bidding-jpaa ※お手数ですが、サンプル見本（会社パンフレットは自由）は別途必ず郵送ください 2. 郵送 提出書類（電子記録媒体可）一式を1つの封筒に入れて封緘し、「○○に関する○○入札書在中」と記載の上、以下の宛先までご郵送ください。 【郵送先】 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビル 14 階 日本弁理士会広報室宛 3. 持参 提出書類（電子記録媒体可）一式を1つの封筒に入れて封緘し、「○○に関する○○入札書在中」と記載の上、当会受付に設置している入札箱へご投函ください。 【入札箱】 東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビル 14 階 日本弁理士会受付
提出期限	2026年11月10日（火）15時必着
問合せ先	E-MAIL : kouhou@jpaa.or.jp 日本弁理士会事務局広報室
選定方法	総合評価落札方式
今後の予定 （予定）	11月19日（木） 入札結果のご連絡 11月下旬 契約書・仕様書の締結、製作開始 ※必要に応じて打合せを1回程度実施 12月上旬頃 デザイン校了、サンプル提出（校了後20日程度） 2027年2月中 納品
備考	・入札に関するご質問はすべてメールでお送りください。 ・入札は、結果に関わらず全応札者にご連絡いたします。 ・入札結果の詳細に対する問合せには応じられませんので、予めご了承ください。 ・当会と初めて取り引きされる落札者は、反社会的勢力との関係がないことを示す誓約書（当会指定様式）を提出いただきます。 ・支払いは、納品／検収後に請求書払いで行います。原則、請求日の翌月末までに振り込みます。

(別紙)

1. ピンバッジデザイン

表面



天地 25mm

裏面



刻印：できれば横位置を希望

2. 台紙デザイン (予定)

※以下の表面はピンバッジを取り付けたイメージ画像です。台紙表は赤1色に白文字刷りのみとなります

表面



台紙 45×55mm 表裏 特1C
ピンバッジ台紙に丸穴キャッチ留め
PP 袋入り

裏面



3. 仕上げについて **※重要**

- ①バリをとって引っ掛かりのないように仕上げること。
- ②デザインの下方部円を、出来る限り円の形状が出るようにすること。
しかしながら、本体の折れや曲がりがないよう、強度を担保すること。

